

16番 繁昌 誠吾 議員

1 中心市街地活性化について

(1) 市民交流センター（リナシティかのや）について

平成 19 年 4 月、鹿屋市中心市街地活性化基本計画に基づき、「リナシティかのや」が建設され、16 年目を迎える。そしてこの施設の管理運営のため、本市が主体となり「株式会社まちづくり鹿屋」が設立され、これまで運営してきた。市長は就任当時、「残念ながら、人が歩いていない」と答弁され、活性化への抱負を述べている。しかしながら、就任後、10 年目を迎える現在、活性化しているとは思えず、多額の税金を投入し続けた責任は重い。

① 開業から指定管理及びイベント等、これまで中心市街地活性化のために投入した総額を示されたい。

② 市長が就任してからの活性化事業についての成果及び課題について示されたい。

また、今後の方針・目標を示されたい。

(2) キタダサルuggaについて

平成 28 年 1 月、市民協働ショップ KITADA SARUGGA が開業し、7 年目を迎える。開業当初は3年間の交付金事業との説明であったが、現在は委託事業となり、情報発信基地としての機能を果たすとのことである。これまで、店舗の整備及び運営のために投入した総額を示されたい。

また、これまでの成果及び課題、今後の運営方針を具体的に示されたい。

2 観光振興について

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光事業者はもとより多くの事業者の経営がひっ迫し、廃業を考えている経営者の声が届いている。5 類移行がなされたとはいえ、本市への観光客の来訪は不透明で、近隣自治体も頭を悩ませている。そのような中、今後の本市の観光振興・交流人口の増加策について、方針並びに課題について示されたい。

16番 繁昌 誠吾 議員

(2) 広域観光について

- ① 平成 30 年 8 月、大隅半島 4 市 5 町の出資により地域活性化を目的として「株式会社おおすみ観光未来会議」が設立され、5 年が経とうとしている。これまで、4 市 5 町がこの会社に投入した総額を示されたい。
また、今年度も本市の職員のみ行政派遣となっているが、その理由と今後の見通しを示されたい。
- ② 大隅広域観光開発推進会議において、どのような議論・提案がなされ、おおすみ観光未来会議による地域活性化が図られたのか。
また、市長は経過を認識しているか、現状と課題と併せて市長の見解を示されたい。
- ③ 先日、おおすみ観光未来会議の株主総会が開催されたと聞くが、新型コロナは会社にどのような影響を与えたのか、会社の現状と決算内容について示されたい。
また、アフターコロナの広域観光への取組と今後の課題について示されたい。

3 財政運営について

- (1) 今月初めに地元新聞に学校の洋式トイレ化についての記事が掲載された。学校給食費の助成やこども手当の増額等、子育てや教育に対する国の支援策が目に見えて進んでいる。これまでも洋式トイレ化や学校関係施設の修繕や改修について質問してきたが、中々進捗が図られていない。トイレの洋式化の進捗状況を示されたい。
また、本市独自の政策として教育関係施設の早期維持・修繕を目指して、必要な予算の計上や、予備費を設けて、「こども政策日本一のまち鹿屋市」を目指す考えはないか、見解を示されたい。